

傳才と吉原島源蔵、本郷の小林義之、鶴岡長榮屋山吉氏を訪へて、

第九回 調停者職長代東一の會見

本日午後二時より工生工場職長代東一の會見
岡部氏、塙氏、黒田氏、金澤氏、安藤氏、高橋氏、鈴木氏、林氏、大谷氏、相手氏
村上香氏、村上源氏、高橋氏、工場主小林氏、三庄工場田中氏、丁山氏

島田氏、村上端太郎、鈴木小出人、伊留良氏、古川氏

以上九名は会社社員と夫の所員全體と工場長より立派に至適及川明
日本リ無事門を開き、許諾の旨を述べ且つ皆御盡力を請う旨を開く
ト至れり理由とて陳述せし處、總務課主任課長西松忠治氏より詳細説明す。之
等一取手等を意見主來めらる大内も各案等不平にて愚考後刻致すべく旨を
ヘテ退散す。

第三回 口有志の会見

本日午後二時より工正所の會議員、橋見伊八氏、住原徳助氏、伊賀一郎氏
官地悦太郎氏、山内鶴一氏、山内卯太郎氏、岡本整次郎氏、村上勝太郎氏
松本利一氏以上九名は工場最高幹部と先づ來れる土生町有志と畠岡
タ會見を約一年後四時退出せられたり。

本朝銅工場定期賃工五名争議団員、大草多江、庄迫芳子、不拘非常
覺悟を以て入場する至れり。斯くと知るや争議本部は於ては各支部と共に
動搖を始め争議勃發以來、午前、午後、夜の三回と亘りて團員の出席調
印を乞ひ居たるが益々之が嚴重を加へ來たがる者は各戸別を調査し入門
其の前記職工自宅又は三四名乃至七八名の者等取調べを行ふ有様
裏切者出で所等補し更に緊重味を加ふる所至れり。

四日

第三 工場開門より無條件解決不至る迄

嘆願書提出以来廿一日、休業を發表を以て來既に二週日又垂々とす、會社は調停
者職長代表をして會社の意を考る為を説かれ、又彼等争議團代表不至り